

2023年12月9日(土) 14時25分～15時10分
R5年度九州ブロッククラブネットワークアクション
場所:大分県立芸術文化短期大学大講義室



**総合型地域スポーツクラブは
部活動改革の先に何を見出すのか**

今日の内容



歴史

- ・なぜ？ 総合型地域スポーツクラブの発想になったのか
- ・29年間を振り返って

現状

- ・現状の停滞期をどうするの？

未来

- ・学校部活動改革に対応するのか？
- ・スポーツは1つ⇒スポーツ文化の醸成

自己紹介

小出利一（こいで としかず）65歳 誕生日1958年（昭和33年）3月7日
（公認ジュニアスポーツ指導員・公認クラブマネジャー）

1967年度（昭和42年）小4 スポーツ少年団と出会う

1972年度（昭和47年）第10回全国スポーツ少年大会出場

1973年度（昭和48年）第11回全国スポーツ少年大会兼第6回中央リーダースクール修了

1977年度（昭和51年）群馬県スポーツ少年団リーダー会結成

1978年度（昭和52年）第8回関東ブロックスポーツ少年大会を県リーダー会会長としてリーダー会主導で大会運営

1981年度（昭和56年）西ドイツ・スイス単独訪問

1988年度（昭和63年）群馬県スポーツ少年団常任委員

1993年度（平成5年）日本スポーツ少年団指導者ドイツ研修会へ派遣団員として参加

1997年度（平成9年）

日本体育協会からスポーツ少年団を核とした総合型地域スポーツクラブ育成モデル地区指定受託

1999年度（平成11年）糸満市西崎アスリートスポーツ少年団と交流開始

ニュルンベルク市スポーツユース青少年交流開始

2000年度（平成12年）群馬県初の総合型地域スポーツクラブ設立

2002年度（平成14年度）テレビ朝日「ニュースステーション」スポーツ特集

「スポーツ少年団とは」を宮嶋泰子氏と作成

2010年度（平成22年）新町スポーツクラブをNPO法人化

2011年度（平成23年）ドイツ連邦共和国から日独友好150周年 感謝状授与

日本体育協会生涯スポーツ育成委員会中央企画班班員として

総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013作成

2013年度（平成25年）「生涯スポーツ功労賞」文部科学大臣表彰

2017年度（平成29年）独自のドイツスポーツクラブ研修会開始



1981年初 西ドイツ訪問の私（当時22歳）



2023年 指導中の私（65歳）

新町SVCスポーツ少年団



少年団のリーダーって何でしょう

<https://www.youtube.com/watch?v=lllF4mS4Bol&t=29s>



学校と地域の協働による 部活動地域移行



日本スポーツ協会HP(新町SVCスポーツ少年団も今年度内に紹介される予定)
(25) 【学校部活動との連携】NPO法人 新町スポーツクラブ (群馬県) - YouTube

我が愛する町 新 町

中山道、江戸から11番目の宿場町として栄え、
明治10年に官営屑糸紡績工場が開業（現在も工場が存在）
江戸時代から外からの人達を受け入れる歴史がある地域
鉄道唱歌 北陸編 11番にも歌われている町



歌川広重作 新町の浮世絵
新町の温井川付近です。



現在も似たような風景です



- ▶ **平成18年1月、高崎市と合併（合併前は多野郡新町）**
新町当時、人口密度町の部日本一・下水道連結率99% 日本一
- ▶ **面積 3.74km² 人口11,742人 (R5.9.30現在) 高齢化率29%前後 東京から98Kmの距離**
- ▶ **学 校 小学校2校（児童数516名）、中学校1校（生徒数322名）2023年4月現在**
上武大学高崎キャンパス（ビジネス情報学部・看護学部）
- ▶ **交通機関 JR高崎線新町駅（東京・新宿へ乗り換えなし）・高速道路のICは新潟方面、東京方面、長野方面と別々のICを選択できて、いずれも10分程度で利用可能**
- ▶ **産業 ハラダのラスクの本店、ハーゲンダッツ工場（世界で4か所の内の1か所）、高梨乳業、クラシエフーズ、テーブルマークの工場、陸上自衛隊駐屯地**
- ▶ **日本初・群馬県初が多い地域**
官営屑糸紡績工場開設、鉄道の駅開業、2車線道路、スリーデーズマーチ発祥、総合型地域スポーツクラブ設立、なぎなた国体正式種目、ボーイスカウト活動県内発祥の地など

総合型地域スポーツクラブとは

▶ **新しいタイプのスポーツクラブ**

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる

▶ **特 徴 (多世代・多種目・多志向)**

子供から高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴

▶ **新しい運営方法**

地域住民により自主的・主体的に運営

▶ **役割として**

地域において、スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりなどに向けた多様な活動を展開し、地域スポーツの担い手としての役割や地域コミュニティの核としての役割を果たしています。

【質問コーナー】

それぞれのクラブを感覚的に評価してみましょう

1. 多世代、多種目、多志向の運営になっていますか？

・なっている 人 ・ある程度なっている 人 ・あまりなっていない 人

2. 住民主導の運営方法になっていますか？

・なっている 人 ・ある程度なっている 人 ・あまりなっていない 人

3. 役割を果たしていますか？

・果たしている 人 ・ある程度果たしている 人 ・あまり果たしていない 人

いつから なぜ 総合型地域スポーツクラブだったのか

- ▶ **いつから⇒1995年度（平成7年度）から文部省が育成するための補助金制度開始（3年間 最大1,300万円 国50%・市町村50%）**
代表的なクラブ ⇒ 愛知県 半田市成岩地区、富山県福野町（当時）等
- ▶ **日本体育協会（当時）**
1997年度（平成9年度）から補助金開始（1年間105万円を3年間）
※ 趣旨として「スポーツ少年団を核として設立」
代表的なクラブ ⇒ 北海道士別市多寄地区、群馬県新町地区
- ▶ **なぜ？ 総合型地域スポーツクラブ**
バブル崩壊で企業スポーツも崩壊⇒実業団野球チーム解散等
学校体育の限界も見え始めた（学校部活動改革の必要性も）

1995年からを振り返って

黎明期

発展期

停滞期

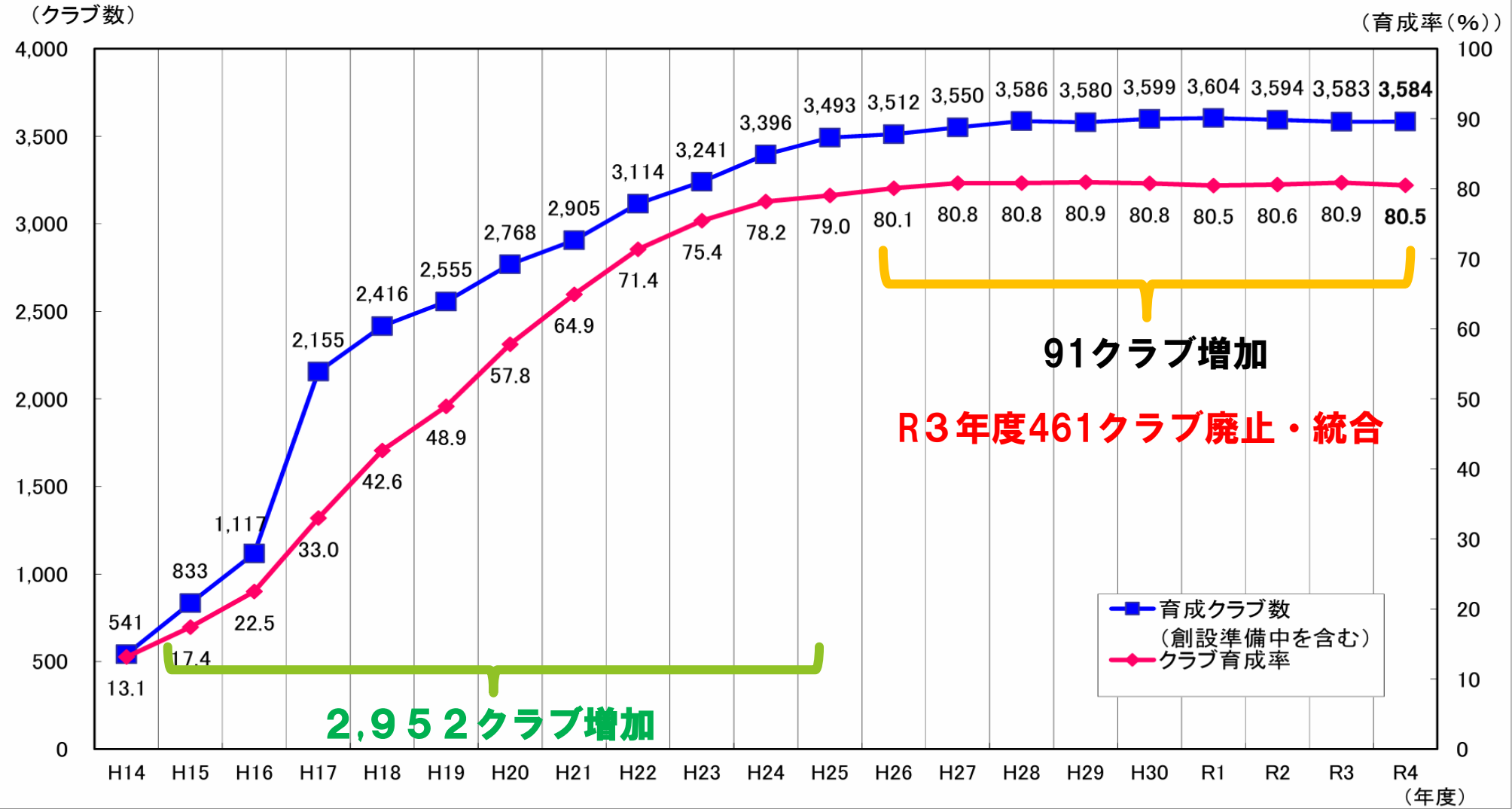
1995年度
～
2002年度

2003年度
～
2013年度

2014年度
～2022年度
この間 クラブ数
横ばい

総合型地域スポーツクラブ育成状況推移 (H14~R4)

(R4年7月1日現在)



黎明期

【財源】

国、日本体育協会等の補助金

【創設支援】

創設支援体制は不十分だったが、各地で設立した人達の熱意があった

※2000年9月

数値目標として全ての市町村に1クラブ設立と明記

発展期

【財源】

スポーツ振興くじ

【創設支援】

国も都道府県も支援大切を確立した

行政主導の創設が増加
2011年ごろから量よりも質を求める

育成プラン2013策定

【自立支援】

スポーツ振興くじで支援
都道府県によっては独自支援

停滞期

【財源】

スポーツ振興くじ

【創設支援】

都道府県単位で支援しているがスポーツ振興くじ等の支援が発展期よりも弱い

【自立支援】

法人となっているクラブにはスポーツ振興くじから財政支援がある。民間財団からの支援もある

【育成状況のバラツキ】

富山県、福島県が全国をリードしてクラブ育成が進んだ。

しかし、群馬県のように統計を取り始めてから常に市町村設置率が低い状況となっている県もある。

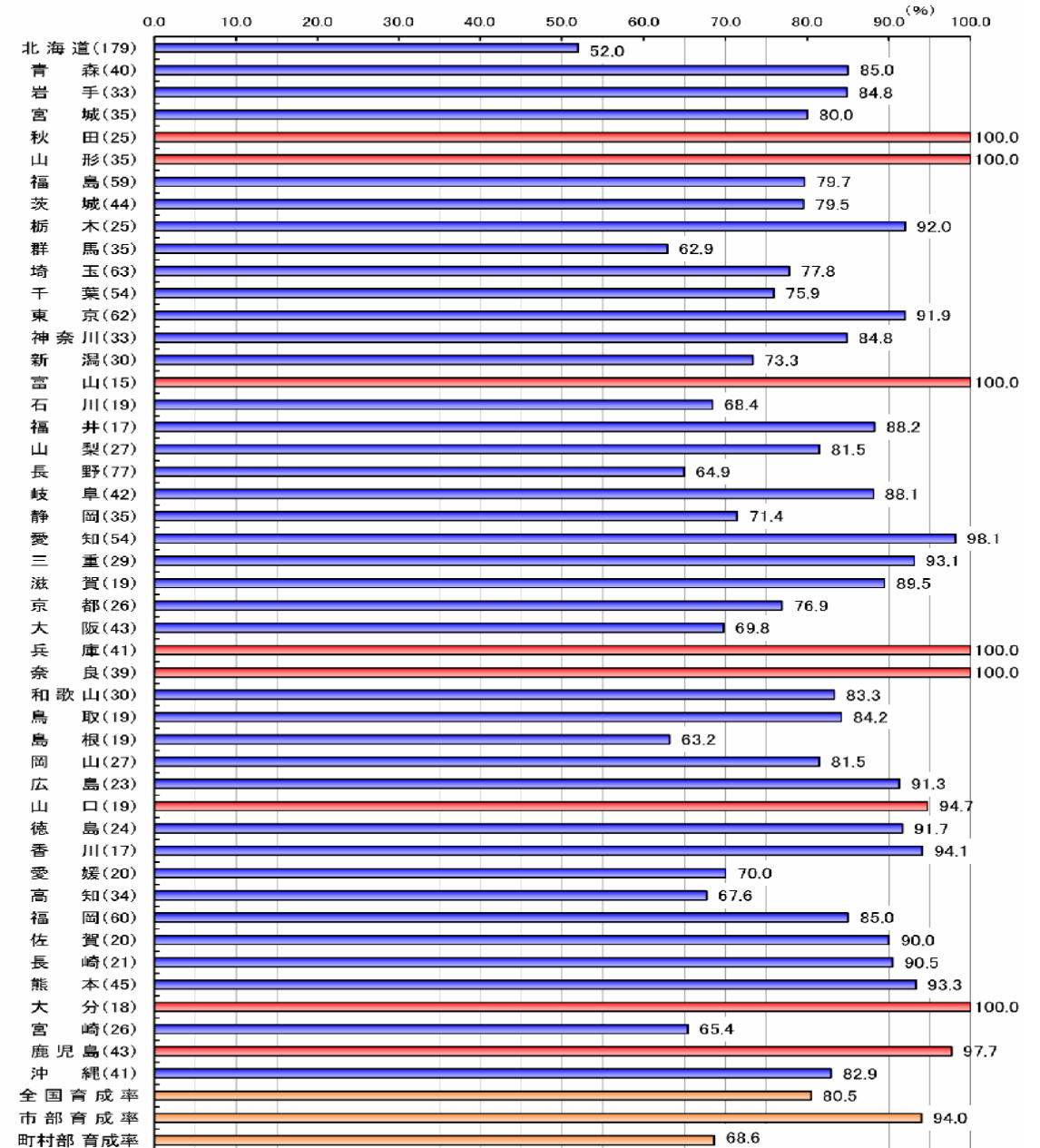
北海道は、市町村数が172あるので率にすると不利となる。

群馬県は35市町村のみで、令和5年度は、51.4% 全国最下位になる可能性が高い

【群馬県の設置率が低い理由】

- ・ 県として総合型地域スポーツクラブについて、本質を理解しないで育成理念が不明確である

令和4年度都道府県別にみる総合型地域スポーツクラブ育成の状況 (R4.7.1現在)



【質問コーナー回答からの考察】

それぞれのクラブを感覚的に評価してみましょう

1. 多世代、多種目、多志向の運営になっていますか？

・なっている 人 ・ある程度なっている 人 ・あまりなっていない 人

2. 住民主導の運営方法になっていますか？

・なっている 人 ・ある程度なっている 人 ・あまりなっていない 人

3. 役割を果たしていますか？

・果たしている 人 ・ある程度果たしている 人 ・あまり果たしていない 人

多世代・多
種目・多趣向

運営方法

役割

【なっている】

【ある程度】

【あまり】

【なっている】

【ある程度】

【あまり】

【なっている】

【ある程度】

【あまり】

あまり

【現状把握】

【計画】

【計画実施】

【振り返り】

ある程度

【改善点把握】

【改善計画】

【改善計画実施】

【振り返り】

なっている

【改善点把握】

【改善計画】

【改善計画実施】

【振り返り】

総合型地域スポーツクラブと 学校部活動地域移行

総合型クラブが部活動の地域移行の受け皿になれるか

総合型クラブだけではなく、地域が1つになって受け皿になるのでは？

学校部活動改革とは

学校部活動の地域移行
ではなく部活動改革

- ・地域で地域の青少年を育むこと
- ・地域スポーツも一緒に改革が必要
- ・同世代だけのスポーツ文化活動ではなく
地域の多様な人達と交流しながらの活動へ

(課題①) 「もはや学校単位でチームを組めない」：少子化の中で多様な種目の経験機会をつくるには

- 少子化の進展により、特に多くの部員数を必要とする種目では、学校単位のチーム編成が困難、実際に中体連に登録する合同チーム数は、この20年で6.5倍に増加し、この傾向は今後ますます深刻に。このままでは子どもたちが多様なスポーツを経験できる機会はさらに少なくなってしまう。
- 対応策として現在でも合同チームの編成は可能であるが、**不安定な競技環境に鑑みれば、学校の枠にとらわれないスポーツクラブを組成するメリットを考え、学校部活動しか参加できない各種の競技大会も、地域スポーツクラブへの門戸開放を前提にデザインすべきではないか。**

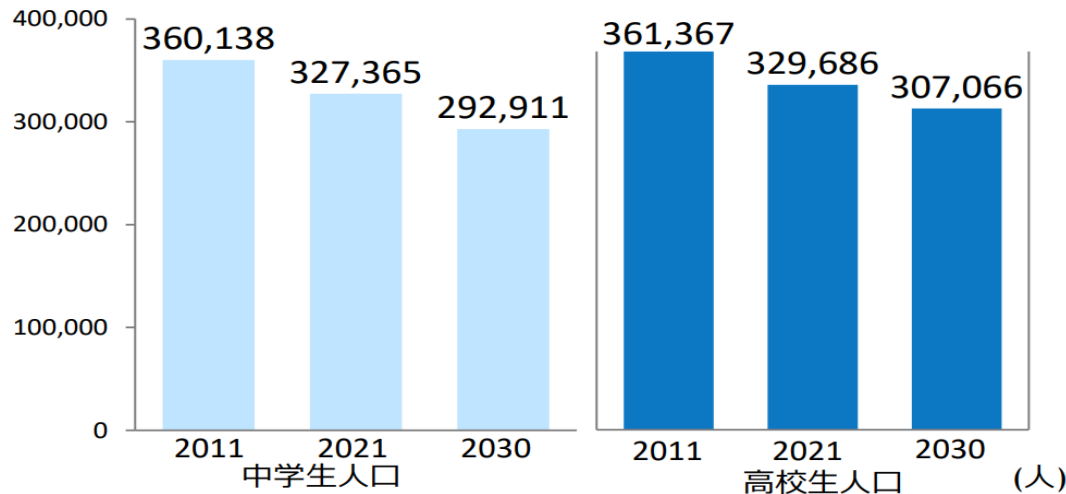
止まらない少子化と合同チームの増加

中学生の激減から学校単位の部活動は既に困難になっている

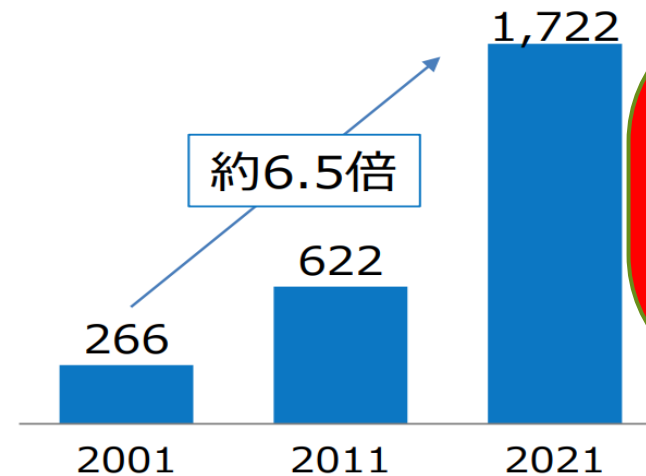
- 2030年に向けて中学生は約10%、高校生は約7%減少
地域によっては20%以上減少見込みのところも
また、学校の統廃合が進み、年100校以上の中学校・高校が消滅

- 中体連に合同部活実施チームとして届け出を行っている
合同チーム総数はこの20年で約6.5倍に（対象は22種目）
4校以上が1チームとして活動しているものも存在

中学生・高校生の人口変動



中体連に登録する合同チームの数



少子化に歯止めがかからない日本
今後もこの傾向は加速する

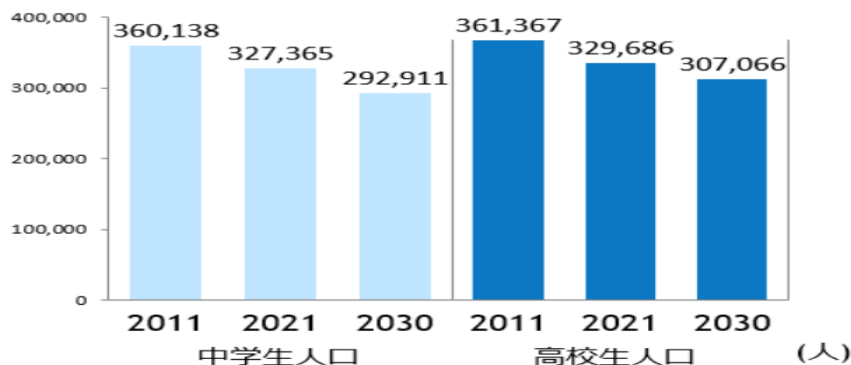
出典：内閣府「出生調査」・文部科学省「学校基本調査」、「加盟校・加盟生徒数調査集計表」公益財団法人 日本中学校体育連盟

中高生人口と学校数の変動

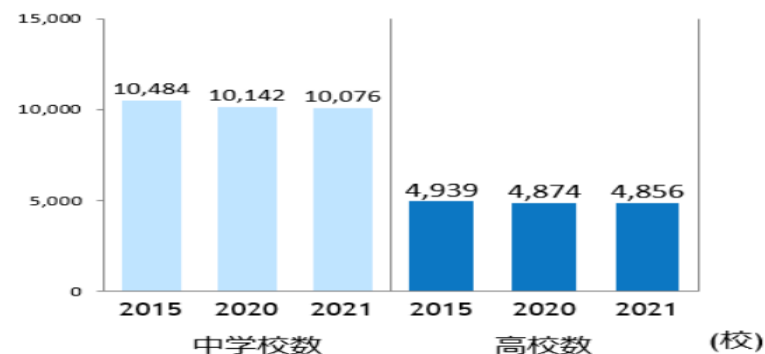
■ 2030年に向けて中学生は約10%、高校生は約7%減少

■ 学校の統廃合が進み、年100校以上の中学校・高校が消滅

中学生・高校生の人口変動



全国の中学校・高校数



出典：内閣府「出生調査」・文部科学省「学校基本調査」

<中学生・高校生の人口変動及び学校数の変動>

中学生の人口減少率の高い/低い都道府県

■ 中学生人口は2030年に向けて全国的には10%の減少であるものの、地域（地方に集中）によっては20%以上減少見込。

2030年に向けて中学生の人口減少率が高い都道府県

都道府県名	中学生人口		変化率
	2021	2030	
① 秋田県	21,924	16,923	-23%
② 奈良県	35,964	28,227	-22%
③ 群馬県	50,841	41,197	-19%
③ 岐阜県	54,493	44,338	-19%
⑤ 長野県	55,189	45,335	-18%

2030年に向けて中学生の人口減少率が低い都道府県

都道府県名	中学生人口		変化率
	2021	2030	
④⑦ 東京都	311,049	334,148	7%
④⑥ 沖縄県	49,716	49,777	0%
④⑤ 福岡県	139,657	132,712	-5%
④④ 神奈川県	226,599	212,258	-6%
④④ 島根県	17,040	15,960	-6%

出典：「人口動態調査」e-Stat統計でみる日本

<中学生の人口減少率の高い・低い都道府県>

大分県2002年度 (H14年度) 38,682人
 2014年度 (H26年度) 32,059人
 2023年度 (R 5年度) 29,304人
 21年で9,378人減少 -24.2%

近未来の日本の青少年スポーツ

平成30年6月 日本スポーツ協会発出提言 今後の地域スポーツ体制の在り方 ジュニアスポーツを中心として

【図2】【ステップⅢ】本会が目指すべき「新たな地域スポーツの体制」の在り方(再掲)



学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

扱い：12月27日（火）
閣議後会見大臣冒頭発言後 解禁



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

提言にはなかった用語

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保

令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す

都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

スポーツ庁・文化庁が定義した地域クラブ活動とは

必要性

- ・公立中学校において、学校部活動の維持が困難となる前に、**学校と地域との連携・協働**により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに地域クラブ活動を整備する必要がある。

地域クラブ活動とは

- ・**学校の教育課程外の活動**として、社会教育法上の「**社会教育**」（主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。））の**一環**として捉えることができ、また、スポーツ基本法や文化芸術基本法上の「**スポーツ**」「**文化芸術**」として位置付けられるものでもある。

重要性

- ・**学校と連携し、学校部活動の教育的意義を継承・発展**しつつ、スポーツ・文化芸術の振興の観点からも充実を図ることが重要である。

スポーツ庁 提言と総合的ガイドラインに記されている 重要事項

- ▶ **誰もが参加しやすいスポーツ、文化部活動**
- ▶ **複数の活動を経験できる活動日数や時間**
- ▶ **活動時間の適正化**
- ▶ **学校と協働し、学校部活動の教育的意義を継承・発展、新しい価値の創出**
- ▶ **指導体制の見直し**
- ▶ **地域のスポーツ団体等との連携・協働**

総合型地域スポーツクラブは部活動地域移行 において適切な受け皿組織となれるか？

▶ **そもそも総合型地域スポーツクラブは受け皿組織なのか？**

そう思う 人 そうは思わない 人

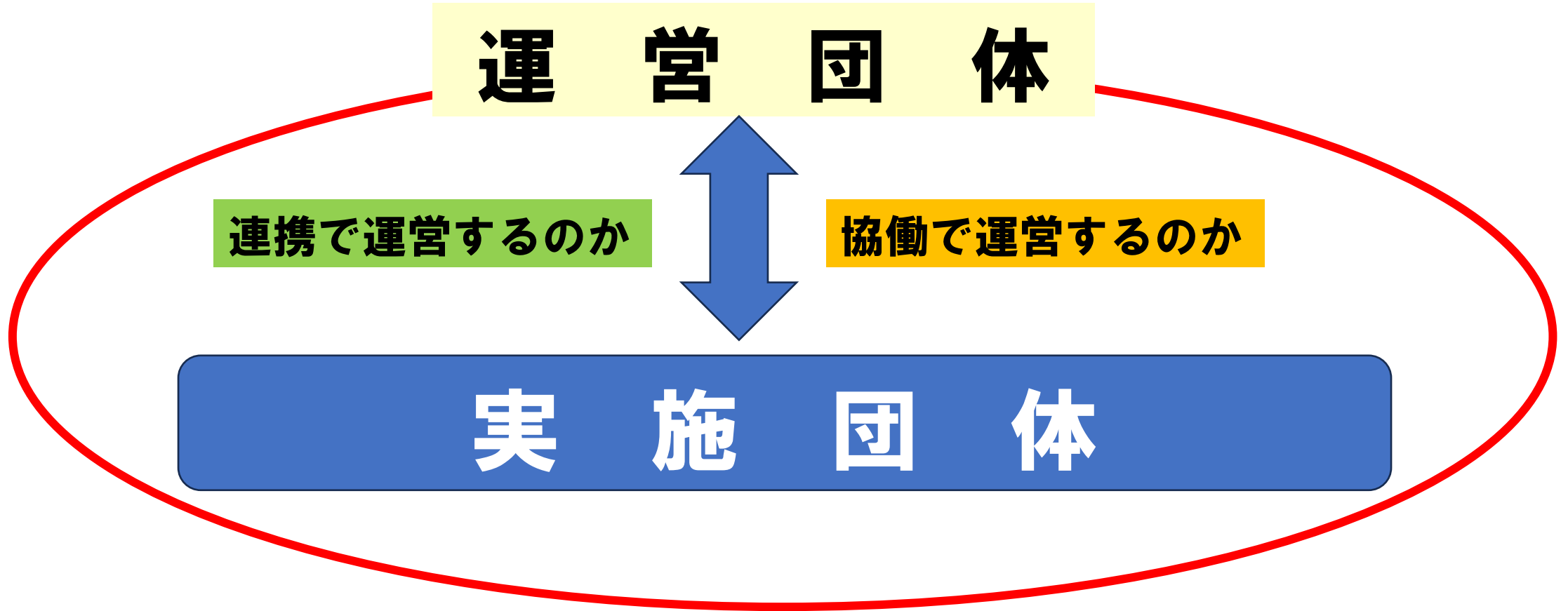
▶ **みなさんのスポーツクラブは、部活動改革の受け皿となれますか？**

なれる 人 難しい 人

▶ **受け皿団体として、必要なことは何だと思えますか？**

▶ **クラブとして、部活動改革に期待することがありますか？**

みなさんの総合型地域スポーツクラブは 運営団体？実施団体？



自分たちの総合型地域スポーツクラブの役割とはなんだろうか？
本質を外さない、背伸びしない、無理をしないでできることをできる範囲で始める

地域活動から中高生が消えた理由

中学校が校内暴力などで荒れ、~~本来~~に、部活動を生徒指導の手段

全ての生徒が部活動へ~~参加~~する「強制入部」

地域と中学生の分断

分断解消へ

青少年が地域に戻る時 総合型地域スポーツクラブが選ばれるか？

中学生
高校生

学校から
地域へ

地域活動

これができるのは、総合型地域スポーツクラブでは？
学校部活動経営から
地域スポーツクラブ活動の経営へ



ドイツから学んだ青少年スポーツ・文化活動環境 地域だからこそできる地域クラブ活動の教育的意義

- 地域スポーツクラブが人を育むから地域愛が育まれる
- 地域愛があるから地域ボランティアが育まれる
- 地域スポーツクラブは、民主主義の学校と呼ばれている
多世代で議論して物事を決定する仕組み

NPO法人新町スポーツクラブ

組織図(2023.9.1)

NPO法人 新町スポーツクラブ理事会



+



NPO法人新町スポーツクラブ育成協議会

クラブマネジメント部
(事務局)

ユースボランティア部門

直轄運営教室部門

既存団体部門

幼児・低学年向け外遊び教室

中高齢者向け健康麻雀

中高齢者向け貯筋体操教室

産後エクササイズ教室

ヒップホップダンス教室

陸上教室

野球教室

バスケットボール教室

バレーボール教室

水泳教室

新町イーグレット(少年野球)

AVSGエヴォリスタサッカークラブ

新町なぎなたクラブ

新町剣道クラブ

新町SVCスポーツ少年団

和太鼓会 しのぶ会

新町空手道クラブ

新町PIONEERS
(ミニバス)スポーツ少年団

赤字の教室は学校部活動支援事業)

【支援事業】

- ・がんサロン運営支援
- ・子育て相談運営支援
- ・ボッチャ体験教室
- ・デフ陸上教室
- ・中学校ダンス授業
- ・中学校水泳授業
- ・中学校防災教育
- ・第一小水泳授業
- ・第一小特別支援学級体育授業

クラブと連携している企業・組織

(株)NSP群馬、(株)群馬ヤクルト、NPO法人地域母親支援サージファーム、群馬県地域がんサロン
プログラミング学習支援団体RABOTEES、自遊空間 みちくさ(クラブハウス)

SVCスポーツ少年団は、クラブを組織する際の核となり、陸上、スキー、野外活動、ユースボランティア育成等、多様な活動を行っている

新町スポーツクラブライフサイクル



クラブ運営者
クラブ指導者
クラブマネジャー

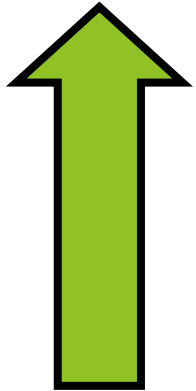
中高齢者
クラブを楽しみながら支えて生涯クラブ員として活動できる

幼児から小学生は
様々なスポーツ文化体験ができる

高校生以上は地域のチームとして愛され、中学生以下を指導する。

中学生から専門的な指導が受けられる

ユースボランティア



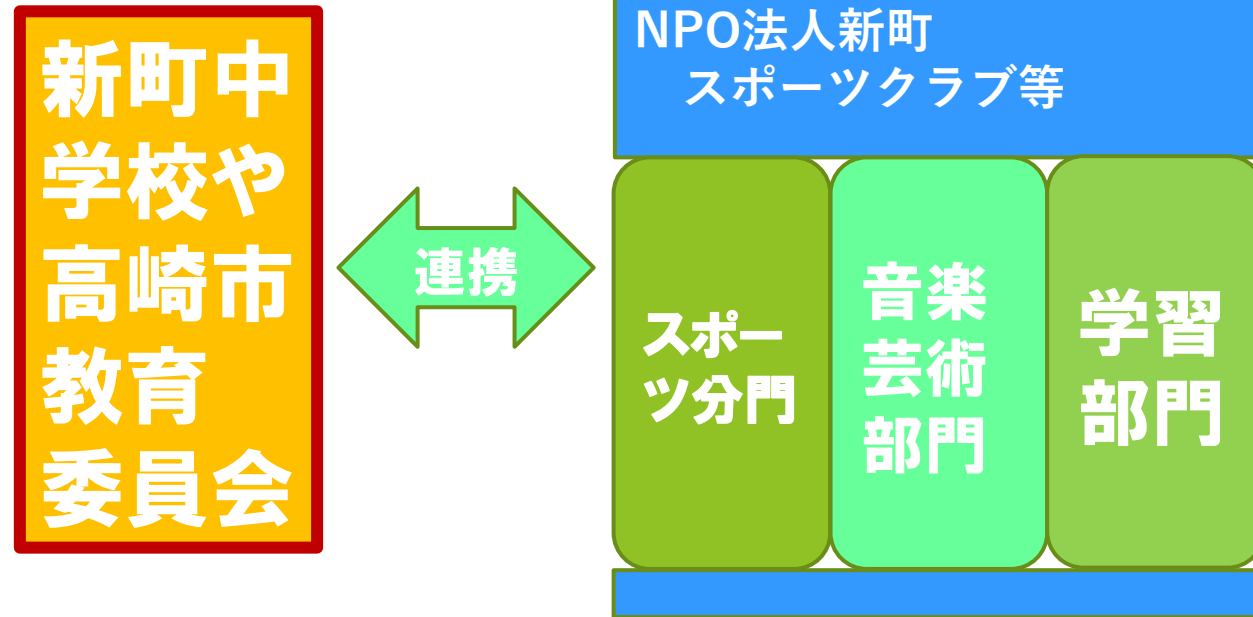
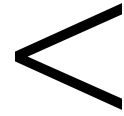
【23年間の活動成果】

- ◎ 現在、クラブ運営者、各種目スポーツ指導者の多くがクラブから育った人達
- ◎ ユースボランティアから指導者等になった人達は、沖縄派遣、ドイツ派遣経験者が多くいる。
- ◎ 新町に住んでいなくてもクラブとして大きなイベントを開催する時は帰って来て直ぐにスタッフとして活動している
- ◎ 一度、新町から離れても新町で子育てしている人もいる。

地域クラブ活動における連携・協働のスタイル②

A:連携型 : coordinate

同じ方向をむいている人たちが力を合わせてものごとを行う



B:協働型 : collaborate

お互いが目的を共有して当事者意識を持ち、よい結果を生み出すために協力して働くこと



例:互いに連絡を取り合い、協力して地域クラブ活動を実施する(連携のとりまとめはどちらかの主体になる可能性が大)

新町スポーツクラブと新町中学校が目指す組織

コロナ禍だからできたニュルンベルク市スポーツユースと 初の青少年オンライン国際交流会 (2021.7.23~25) 不可能と思えたことをオンラインシステムで可能にした**青少年達の知識と行動力**



第8回ニュルンベルク市青少年国際交流派遣事業

- ① 交流目的は、日独両国のスポーツと文化交流を通して、両国の良さを理解する
- ② 両国ともにホストファミリー形式で交流を行うことで、生活の中でスポーツを体験し、相互に食文化、生活様式等についても学ぶ機会となる



幸せの泉の塔前で記念写真
ニュルンベルク市役所内
市長（オリンピック金メダリスト）と
記念写真

アルトルフスポーツクラブ柔道場で
スポーツ交流後に記念写真

2006 ドイツW杯
日本対クロアチアの試合を
開催したニュルンベルクの
スタジアム

報告書は、新町スポーツクラブ
HPからダウンロードできます

ニュルンベルク市はドイツ近代史の歴史的遺跡がある街
ドイツの青少年は自国の近代史を深く学んでいる
ドイツでは近代史を学び、地域を学ぶ=地域愛を育む
そのことが、地域で役立つ人材育成となっている

第9回ニュルンベルク市青少年国際交流受入事業 ～ ～ 2023.8.9～8.18 企画運営はユースボランティア ～ ～



スポーツ交流だけではない。ホストファミリーで日本の文化生活体験や藍染め体験 幼児から高齢者まで交流します



ドイツにおける青少年スポーツユース組織



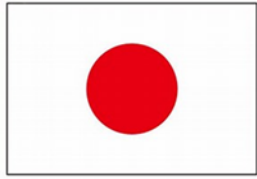
「スポーツ少年団も
総合型クラブも
見本はドイツ」
そのドイツの組織は
スポーツクラブの青少年層
がスポーツユースとして
当然 一体化しています

ドイツ国内 約90,000クラブ
(全てフェアイン)の青少年層を
スポーツユース称しています。

6歳から27歳まで
ドイツスポーツユース

新町SVCスポーツ
少年団は1992年
(平成4年度)から
ドイツのスポーツク
ラブ型を目指して
活動をリスタート

NPO法人新町スポーツクラブは基本 ドイツ的な組織づくり



スポーツが複数形
Sportsで分断

学校体育

(地域)
社会体育

競技スポーツ

生涯スポーツ

競技スポーツも生涯スポーツも種目別文化

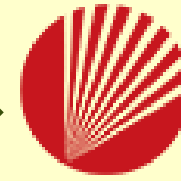


スポーツ文化
スポーツは
1つ
(Sport)

スポーツは1つ (Sport for 1)

JASA (Japan Sports Association)

2017年6月



JSPO
Japan Sport Association

大島鎌吉先生の言葉

(東京オリンピック1964を誘致して成功に導き、選手強化本部長であり、スポーツ少年団・体育指導員制度策定、みんなのスポーツ(ドイツのトリム運動)導入の生みの親)

**「2度と青少年達の尊い命を戦争に巻き込んではいけない。
スポーツで平和を導ける」**

**「スポーツにピラミッドは必要ない。スポーツをする者はいつも
平等であり、底辺もヒエラルキーもない。矩形なんだ」**



【部活動がほぼないドイツ】

青少年スポーツ・文化活動の場は、地域内にある様々なクラブ(ファイン)

指導者の謝金、会員の保険は、州と市スポーツ協会から支援されている。

指導者の謝金は、基本1時間2€程度
州によっては1時間1€程度が支援

【ドイツの現在の課題】

学校が半日制から全日制に変化
学校内でスポーツ活動が必要になる
しかし、普通の学校には広い校庭も体育館がない。

ドイツも学校と地域の協働で検討中

共同通信社提供 小出は8月31日取材協力



堅実運営のドイツ型クラブ

部活地域移行のヒントに

ドイツ・ニュルンベルクのスポーツクラブでハンドボールをする会員ら。2012年8月小出利一さん提供



公立中学校の部活動を地域クラブや民間業者に委ねる「地域移行」に向け、指導者確保や保護者の費用負担といった課題が指摘されている。一つのヒントになりそうなのが、日本のような学校単位の部活がなく、100年以上の総合型クラブ文化を誇るドイツの事例だ。学生コーチらの採用で支出を抑える一方、テナント料やテナント料で収入増を図るなど、堅実な運営で活動を続ける。

▽報酬に納税免除制度 会費は競技や年齢にベルリン西部の緑豊かなクルーネワルト地区、閑静な住宅街の一角に、1895年創設のベルリナー・スポーツクラブ(BSC)がある。東京ドームより広い6万平方メートルの敷地には天然芝1面、人工芝2面のピッチに加え、陸上競技場も備える。自治体が管理し、使用料はかからない。ハンシヨアヒム・フェンスケ会長は「われわれは多様性を重視し、年齢や宗教、肌の色を問わず誰でも会員になれる」と語り、全18部門で約3300人もの会員を抱える。

▽非営利、役員無給 ドイツを参考に、群馬県の新町スポーツクラブ(高崎市)は複数のスポーツ少年団が統合する形で、総合型クラブとして2000年に発足した。現在は3歳から80代までの約300人が加入し、球技や武道など幅広いスポーツに取り組み、指導者は基本的に地域住民が中心のボランティアだ。小出利一理事長はドイツ人の生涯を通じたクラブへの関わり的重要性を強調。「学校を含め地域全体でスポーツ、文化活動の環境をつくるのが地域移行の本筋。地域で地域を支える。そして」と

指導者は住民、支出抑制

テナント料で収入増



ベルリナー・スポーツクラブのクラブハウス = 7月、ベルリン

▽非営利、役員無給 ドイツを参考に、群馬県の新町スポーツクラブ(高崎市)は複数のスポーツ少年団が統合する形で、総合型クラブとして2000年に発足した。現在は3歳から80代までの約300人が加入し、球技や武道など幅広いスポーツに取り組み、指導者は基本的に地域住民が中心のボランティアだ。小出利一理事長はドイツ人の生涯を通じたクラブへの関わり的重要性を強調。「学校を含め地域全体でスポーツ、文化活動の環境をつくるのが地域移行の本筋。地域で地域を支える。そして」と

▽非営利、役員無給 指導者不足はなくなり、保護者の経済的負担も小さくなる。 BSCのクラブ自体も非営利で役員は無給。ボランティアで指導を買って出るコーチもあり、地域住民のスポーツへの愛情がクラブを支えている。元陸上選手でもあるフェンスケ会長は「ボランティアが浸透しているドイツと日本とは文化的な違いがある」と指摘しつつ、運営の根幹として「スポーツを楽しむ、それを他の人たちにも伝えたい」という人を見つけたことが大切と強調した。(ベルリン共同)石井大輔



ドイツから学んだ環境をヒントに

新町スポーツクラブとして最も強い影響を受けてこと
青少年達の意見が反映される組織運営

子どもの身体活動に
「ダメ・禁止」は禁句
⇒リスク管理できる
人材を育成できない

スポーツを
手段にしない

全ての世代が様々なスポーツを楽しむ
ことで健康寿命を伸ばす

【行政のみなさん、これは覚えて帰ってください】

- ドイツのスポーツクラブには、州スポーツ連盟から財政支援、土地の提供等の手厚い支援がある
- ・会費、保険代、指導者謝金の一部をスポーツ振興くじから支援している
 - ・ドイツにおける青少年国際交流活動の補助金 ⇒ ドイツスポーツユーгент本部・州・市から補助金がある
 - ・子ども達の環境を守るために行政部署の横の連携がしっかりしている



**発達障がい児特別支援育成プログラム
ノルトラインヴェットフアーレン州フィルゼン郡市の取り組み**

日本スポーツ界 大変革へ

群馬県 中学生数

2008年 59,269人

2023年 48,968人

2030年 41,197人

2030年と

2008年を比較

-16,535人

-29%

新町スポーツクラブ として取組むこと

- ① 青少年は自主的に行動できる人材として育む
- ② 青少年から高齢者まで一緒にスポーツを楽しむ環境づくり
- ③ 全ての世代の健康寿命を伸ばす活動

- ・ 欧米のスポーツ指導にほぼ暴言暴力はない【見守る姿勢】
ドイツは暴言暴力を働いた指導者に対して厳しい罰則がある
- ・ 欧米には、小中学生世代の全国大会はない
トーナメント方式の大会は基本ないリーグ戦が中心
青少年世代に勝利至上主義を持ち込ませないため

暴力暴言がある指導方法の排除

種目文化から真のスポーツ文化へ

学校部活動の改革は、地域活性化への大チャンス



小手川君は、新町SVC
スポーツ少年団リーダー



ご清聴ありがとうございました

